

「何事も目標を持って取り組む大切さを教えてくれた恩師のように」

(川崎なつみさん)

■家庭科教諭をめざそうと思ったきっかけは何ですか？

高校の恩師が吹奏楽部の顧問をやってくださっていたのですが、「いつも夢を見させてくれるような先生」で、何事にも目標を持って取り組む大切さを教えてくれました。それで、私も「目標や夢を些細なことでも持てるような生徒を増やしたい！」と思い、教員をめざそうと思うようになりました。

■大学の学びでは、どのような授業が印象に残っていますか。

家政福祉学類※では、衣・食・住、福祉、保育など、様々な学問分野がある中、調理学実習や調理学実験などの食に関する授業が一番、印象に残っています。

(※2018年4月より、和洋女子大学は学群・学類から学部・学科に名称変更しました)

■教員採用試験に向けて工夫した点を教えてください

電車で通学していたので、電車の中で過去問題を解いて勉強したり、バイト前の隙間時間を使うなど、時間を効率よく使って勉強していました。

■どのような教員になりたいですか？

生徒が1つでも目標や夢を持って行動していけるようにサポートができる、そんな先生になりたいです。

■後輩たちへのメッセージ

一般企業への就職をめざしている同級生たちより、進路が決まる時期が遅い分、焦ったり不安になったりするかと思います。けれど、自分の隙間時間を使って焦らずにしっかり勉強すれば絶対にいい結果が自分に返ってくるので、自分を信じて頑張ってください。